

令和7年度



第2回 学校運営委員会

9月11日、本校校長室にて、第2回学校運営委員会を開催いたしました。

今回、全学級の授業参観を行い、子どもたちの学習の様子を見ていただきました。委員の方からは、「学習意欲が高く、規律を守れる子どもたちだと感じました。」「外部からの参観者がいてもすぐに学習に集中できる児童の姿が素晴らしかったです。」「6年生の教室後方に掲示されていた「立腰」という言葉に感銘を受けました。『姿勢を正す』という行為が脳の働きと関連していることもあり、本当に素晴らしいことだと思います。」といった感想を話されていました。



授業参観後は、教頭より、教職員による中間評価の結果や学力向上に向けた取り組み等についての説明を行い、ご承認いただきました。

今回も委員の皆さんと熟議を交えた意見交流を行い、たくさんのご助言、励ましの言葉をいただき、今後の学校運営に活かしてまいりたいと思います。

次回は、令和8年1月20日（木）、大麻中学校区において4校合同で実施を予定しています。

【委員の皆さんからいただいた意見の一部を紹介】

【休み明けの不登校傾向とウェルビーイング】

- ◆小児科に勤務している中で、「休み明けになかなか学校に行きたくない」「体調が悪い」など、そう話す方がよく受診される。（教頭：学校としても休み明けの体調不良者を心配している。対策として「心の教室」を開設し、教室に入りづらい児童をサポートしている事例を紹介）
- ◆ウェルビーイング向上のためには、具体的な方法論を打ち出すことも必要ではないか。「セロトニン」「呼吸法」といった科学的知見を積極的に発信してはどうか。

【資源回収事業の現状と課題について】

- ◆収益が減少し、学校側が業者との調整や費やす時間的コストが心配です。子どもたちに向き合う時間を多く作るために、もう少し様子を見て、資源回収事業の方向性も検討する必要があるのではないか。